

令和4年度 支援事業 PTA 活動報告書

1. 申請者

申請代表 学校名	大田市立温泉津小学校
申請代表 会長名	河村 隆弘
連絡先 学校電話番号	0855-65-2573 (学校担当者氏名： 教頭 佐藤 綾)
FAX	0855-65-2010

2. 事業計画

① 事業の名称
温泉津小PTA活動 『子どもと一緒にのぼせ隊!』～神楽交流会～
② 事業実施内容 (開催日や参加者等も記載)
<p>■開催日 … 10月21日(金) 13:50～15:30</p> <p>■参加者 … 150名 【内訳】 児童 86名、保護者 45名、温泉津舞子連中関係者13名(うち3名保護者) 7名児童) 教職員 16名</p> <p>■交流会の活動内容 【事前】温泉津舞子連中との練習会2回(10/9、10/16)</p> <p>【当日の日程】10月21日(金) 12:30～ 温泉津舞子連中さん集合・舞台準備 13:00～ 保護者(P役員ほか8名程度)と教員(数名)が会場設営 13:35～ 保護者受付・児童入場 13:50 開会 始めの言葉(校長) PTA会長あいさつ</p> <p>13:55～「神楽交流会」進行(温泉津舞子連中:小林泰三さん) ①解説その1「石見神楽とは」(温泉津舞子連中+教員) ②石見神楽 お清めの舞「塩祓(しおはらい)」(温泉津舞子連中※児童による) ③解説その2「石見神楽の道具など」(温泉津舞子連中) ④石見神楽「大蛇(おろち)」上演(温泉津舞子連中×温泉津小学校PTA) ※温泉津舞子連中3名、保護者6名、児童4名、教員1名による ⑤体験交流会…蛇胴、衣装等紹介と試着体験、奏楽体験体験</p>

15:35 感想発表タイム

15:40 閉会 ♪ 保護者と温泉津舞子連中さんと教員で会場片付け

【事後】

学校だより11月号（11月11日発行予定） ※保護者配付と地域回覧

PTA広報誌 「かがやき」に掲載予定（12月中旬発行）。※保護者配付と地域回覧

③ 成果と課題

■成果

・ 近年は、人と人がつながる活動がほとんど制限されてきたので、今年度こそは、PTA活動で子ども達と先生と保護者と一緒になって楽しいことをしたいと考えたのがこの企画で、学校、保護者、地域の方々の協力のおかげですばらしい交流会を実現することができた。

今回の交流会は、温泉津小学校PTA活動としては初の試み、新しい形の企画だったが、事前に保護者へ交流会当日の石見神楽のステージ出演者の依頼を呼びかけたところ、温泉津舞子連中所属以外の保護者が4名、受付や会場設営に16名もの保護者、教職員の皆さんが協力して下さることが分かり、あらためて温泉津小PTAの協力体制のすばらしさを感じた。

当日の交流会では、石見神楽の歴史に触れることで伝統芸能の奥深さに感心させられたり、温泉津舞子連中の方々と保護者と教職員合同の迫力の「大蛇（おろち）」上演から、そのすばらしさに感動させられたりと会場から盛大な拍手が沸き起こった。後半には、神楽体験に子どもたちを中心に参加し、会場全体が多いに盛り上がった。

今回の神楽交流会で、地域の伝統芸能「石見神楽」のよさやすばらしさを体感できるとともに、まさに地域と学校と保護者で「子どもと一緒にのぼせた」時間を過ごし、親睦を深めることができた。

□以下、成果として参加した保護者、温泉津舞子連中、教職員の感想を挙げる。

保護者からの感想より

- ・ 子ども達にとってはもちろんのことですが、保護者にとってもとても貴重な時間でした。私自身神楽好きですが、全く知らないことばかりでとても勉強になりました。子ども達が誇るこの文化を身近にまた関心をもって関わり引き継いでいってくれる事を願っています。親子もとても楽しめたすばらしい会でした。ありがとうございました。
- ・ 神楽を見る機会や子どもから神楽の体験（総合的な学習の時間での学習）の話をきくことはあっても、実際に裏側を見ることはできないので良い時間でした。
- ・ 神楽を舞う子ども達の姿を見て泣きそうでした。かっこよかったです。なかなかできない、体験で、子ども達も保護者の皆さんも楽しい時間を過ごせたと思います！
- ・ 子ども達が、この交流会を楽しみにしていました。昔と違い、今は通りすがりなどで見られなくなった神楽。見たいと思っても見せてあげられなかったのが、勉強もでき、演目も見れて良かったです。
- ・ 体験を交えた中に、舞の意味や歴史などもあり、子ども達も興味をもったことと思います。
- ・ 楽しくて、あっという間の時間でした。温泉津舞子連中の皆さん、本当にありがとうございました。
- ・ 普段、地域で見れない舞子連中が見れました。子ども達も楽しめ、勉強（学べる）企画でした。

温泉津舞子連中からの感想より

- ・ この度の神楽交流会は、地域芸能に取り組む団体として非常に有意義な機会となりました。昨今は感染症対策の影響でイベントや外出の自粛、地元神社での奉納神楽の中止など子どもたちが神楽に触れる機会が激減していました。

そうした中で今回の取り組みは地元小学校という将来の地域の後継者が神楽に触れるきっかけを作ることができました。また、すでに団員として活動している児童が同級生や先生の前で舞を披露でき、本人たちの自信につながりました。

保護者さん、先生にも演者として練習、本番を踏んでいただき、指導する側もとても楽しく、嬉しい時間となりました。

P T Aの皆さんが地域芸能に対する理解や興味を深めていただいたことで、今後神楽を目にすることがあればその視線がきっと違ったものになると思っています。

教職員からの感想より

- ・ 子ども達にとって大変貴重な時間をありがとうございました。地域の大切な石見神楽という伝統を大切にされていた「心」を強く感じました。子ども達の舞い、P T Aの方々の舞い等一生懸命な姿は見ている子ども達の心にも残っていることと思います。温泉津舞子連中の方の解説も大変分りやすく、これから見る神楽がもっと楽しみになりました。
- ・ 「本物に触れる」、これは大田市が今年教育テーマに掲げている一つです。伝統文化の石見神楽に深く関わる体験ができたことは、子ども達にとって貴重なものであると思います。
- ・ 教員、保護者、子ども達が一体となって楽しめたすてきな会だったと思います。コロナになってイベントもぐっと減っている中で、こうしてみんなで楽しめる機会はとても大切だと思いました。子ども達の感想にもありましたが、ぜひまたやってほしいです。
- ・ 昨年度のまちたんけんで温泉津舞子連中の小林さんのお話を聞き、生き方に触れ、こうした会の実現をずっと願っておりました。地域にあるもの（しかも伝統芸能）がP T A活動として、子どもの学びにも生かされていくことに大きな意義を感じた交流会でした。

■課題

- ・ 温泉津舞子連中の方々は、平日の仕事（勤務）をもっておられ、今回の交流会を開催するにあたって都合をつけていただく形となったこと。
- ・ 当日の日程で、時間の都合上、感想発表タイムが5分程度となったため、児童のみの感想発表となった。来場された保護者さんからもその場で感想を発表してれば、更に感動を共有できたと思われる。
- ・ 今回の交流会は、感染症対策のため一般の地域の方々には案内を行っていないが、当日の会の途中で、石見神楽の囃子の音を耳にし、会場をのぞきに來られた地域の方もおられた（会場へ案内をしたが、遠慮され外から鑑賞）。今回は実現しなかったが、P T A会員以外の地域の方々へもP Rし、地域とP T A活動が一体となり、つながっていくことができればP T A活動もより活性化していくと思われる。